

横田の整備士と消防士 C-5Mスーパーギャラクシーで訓練を実施 *Yokota maintainers, firefighters train on C-5M Super Galaxy*

April 1, 2024

By Airman 1st Class Cayla Hunt
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地で3月19日、第730航空機動中隊と第374施設中隊の隊員が、C-5Mスーパーギャラクシー地上訓練機での慣熟訓練を行った。

航空機動軍は、横田基地の隊員がC-5Mスーパーギャラクシーでの作業に慣れるよう、毎年、第730航空機動中隊に訓練の機会を提供している。参加した空兵たちは、C-5の理論を理解しその運用について知識を得た。

第730航空機動中隊乗員主任ルーク・ティファニー軍曹は、「C-5に触れたことがないメンバーも多い。仕事を把握するのに大いに役立つ大事な機会だ」と述べた。

横田の空兵は、C-5Mスーパーギャラクシーの知識と緊急事の対処能力を高め、不測の事態への準備を整えた。そしてC-5Mで基本的な作業を実践し、必要な認証を得た。

ティファニー軍曹は、「C-5の認証をフルに満たしていない多くのメンバーは、この地上訓練機でさまざまな訓練作業を行うことになる。この航空機を長時間使用できるのは今しかない。なかなか取得できない認証が得られる機会だ」と説明した。

横田の消防士たちは、この機会に脱出訓練を行い、緊急時に航空機から安全に脱出する方法を確認した。

第374施設中隊消防士のジェイコブ・オセゲラ上級空兵は、「いつ何が起こるか分からない。今日、C-5に何かが起きたとしても、何をすべきか、どう対応すべきか、現場で気をつけるべきこと、どんな危険があるかを知っていることが大事だ」と述べた。

今回のC-5M地上訓練や他のこうした訓練は、空兵たちにさまざまな航空機を把握する機会を提供し、任務の即応性と安全性を実現する。

